

## AIR BANK 2WAY

**【取扱説明】及び【保証について】はよくお読み下さい。**

### 【取扱説明】

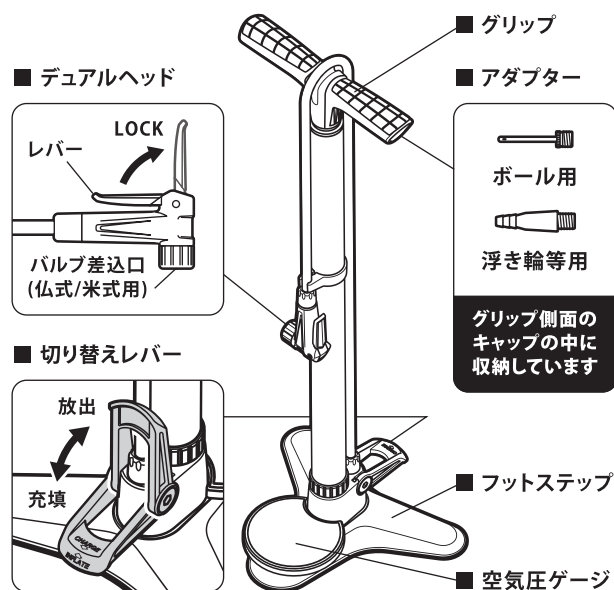
- この商品は、自転車(仏式、米式バルブ)およびレジャー用品(ボール・浮き輪・ビニールボート等)用の手押し式ポンプ(以下スタンダードなフロアポンプという)とチューブレスタイヤ(チューブレスレディ含む、以下TLタイヤという)用コンプレッサーとしての2つの機能を使用可能なポンプです。ほかの目的に使用しないでください。
- ポンプ本体の根本にある切り替えレバーを倒した状態でポンピングするとフロアポンプ内に空気を充填できます。その状態で切り替えレバーを上に戻すと、フロアポンプ内に充填した空気を一気に放出し、TLタイヤのビードが上がりやすくなります。
- スタンダードなフロアポンプとして使用する際は、この切り替えレバーが上に上がりきっていることを確認してから使用してください。また、TLタイヤ用コンプレッサーとして使用する際は、必ず、この切り替えレバーが完全に下に倒れ切っていることを確認してからご使用ください。
- ご使用前ににぎり又はステップ、ホース、口金等の各部に破損、変形ゆり等の異常がないかを確認してください。異常を感じた場合は使用しないでください。

- 空気圧ゲージには、多少の測定誤差があります。
- 空気圧ゲージの目盛り160psiを超えるポンピングは絶対にしないでください。
- 空気圧ゲージの故障時に過大な空気圧が充填されることがあるのでタイヤを押して空気圧を確認してください。
- 怪我等の恐れがあるため、絶対に人や物に向けてエアーを放出しないでください。

- タイヤ側面に表示されているメーカー推奨空気圧を守って使用してください。ただし、その表示空気圧範囲が、この商品の充填可能な空気圧の上限を超えている場合は使用しないでください。
- 必ず平らな場所でフットステップを踏んで本製品を固定し、両手でしっかりとにぎりを握ってポンピングしてください。その際、可動部に指などを挟まないようご注意ください。
- 使用中に空気が入らなくなった場合は、直ちに使用を中止してください。
- 操作力が大きくなってタイヤに空気が入らない場合、無理に空気を入れしないでください。ポンプ内が高圧になり破裂等の危険があります。
- 長時間連続して使用しないでください。変形、損傷の原因になる場合があります。
- 連続で使用した際にポンプ本体が熱くなる可能性があります。不具合ではありません。
- お子様やお取り扱いに不安がある方は、一人で使わず、保護者の方またはお取り扱いになれている方と一緒にご使用ください。
- 製品の分解、改造は絶対にしないでください。
- 乳幼児の届く場所や熱源、雨等の水、直射日光、油類や有機溶剤を避けて保管してください。
- ポンプ本体または空気圧ゲージに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ホースがおり曲がった状態での使用、保管は、故障、空気漏れの原因となりますので、絶対におやめください。
- この商品に使用されている金属、樹脂、ゴムは使用の有無に関わらず徐々に劣化します。変色、変形、亀裂、腐食等の異常を見つけた場合は直ちに使用を中止してください。
- この商品を廃棄する場合は、最寄りの市区町村窓口へ廃棄方法をお問い合わせください。

※取り扱い等ご不明な点がある場合は、当社へお問い合わせください。

### 【各部名称】



#### スタンダードなフロアポンプとして充填可能な空気圧の上限

米式、仏式バルブ：160psi、約 11bar

#### TL タイヤ用コンプレッサーとして使用する際のポンプ本体のタンクに充填可能な空気圧の上限

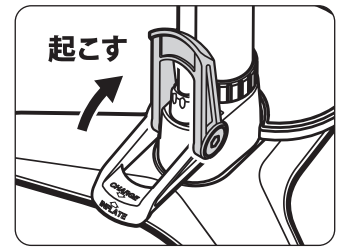
160psi、約 11bar

## 【使用方法】

### スタンダードなフロアポンプの使用方法

#### 【仏式・米式バルブへの空気の入れ方】

- ① 仏式の場合は、バルブ先端にあるネジを緩め、先端を押して空気が抜けるか確認してください。  
米式バルブの場合は、バルブキャップを外してください。
  - ② ポンプ本体根元にある切り替えレバーが、上に上がりきっていることを確認してください。  
また、空気圧ゲージの計測針がゼロゾーンにあることを必ず確認してください。
  - ③ デュアルヘッドをバルブの奥までまっすぐ差し込み、デュアルヘッドのレバーを起こしロックします。
  - ④ ポンピングして希望の空気圧まで空気を充填します。
  - ⑤ 充填が完了したらデュアルヘッドのレバーを倒してバルブからまっすぐデュアルヘッドを引き抜き、バルブ先端のネジを締めます。
- ※バルブからデュアルヘッドを抜き差しする際、斜めに抜き差ししたり、左右にひねったりしないでください。  
バルブやデュアルヘッドの破損の原因となります。
- ※バルブからデュアルヘッドを引き抜く際、勢いよく抜ける可能性があります。怪我にご注意ください。



#### 【ボール等への空気の入れ方】

- ① ポンプ本体根元にある切り替えレバーが、上に上がりきっていることを確認してください。  
また、空気圧ゲージの計測針がゼロゾーンにあることを必ず確認してください。
  - ② 付属のアダプターをデュアルヘッドに差し込み、デュアルヘッドのレバーを起こしロックします。  
アダプターをボール等の空気挿入口に差し込みます。
  - ③ ポンピングして空気を充填します。
- ※ボールや浮き輪、ビニールボート等に空気を充填する際は、空気圧ゲージが正しく機能しない場合があります。空気の入れすぎにご注意ください。

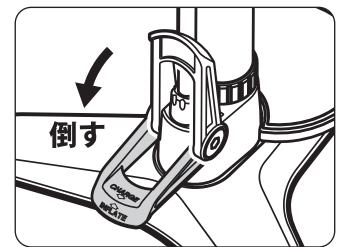
### TL タイヤコンプレッサーとしての使用方法

タイヤの両側のビードが、TL タイヤ用リムの中央に落ちていることを確認してください。

仏式バルブは、バルブの先端にあるネジを緩めた状態のままにしてください。

必要であれば、リムにタイヤを組み付ける前に、タイヤ内にシーラント剤を流し入れてください。

- ① 空気圧ゲージの計測針が、ゼロゾーンを指していることを確認後、ポンプ本体根元にある切り替えレバーを完全に下に倒しきってください。
  - ② ポンプ本体のタンクに充填可能な空気圧の上限 160psi (約 11bar) の範囲で、必要空気圧までポンピングしポンプ内のタンクに空気を充填します。
  - ③ デュアルヘッドをバルブの奥までまっすぐに差し込み、デュアルヘッドのレバーを起こしロックします。
  - ④ 切り替えレバーを上げきり、ポンプ内のタンクに充填した空気をタイヤに一気に放出します。
  - ⑤ ビードが上がりきって、タイヤトリムが正常に嵌合しているのを確認してください。  
ビードの一部が上がり切っていない場合は追加でポンピングして加圧しビードを上げてください。  
その際、タイヤに表記された最大空気圧を超えないように注意してください。ビードが全く上がっていない場合は、①～⑤を再度行ってください。
  - ⑥ デュアルヘッドのレバーを倒してバルブからまっすぐデュアルヘッドを引き抜き、バルブ先端のネジを締めます。  
シーラント剤を入れる場合は、一旦空気を抜いた後にバルブコアを取り外し、バルブからシーラント剤を流し込んでから、再度バルブコアを取り付け空気を充填してください。
- ※ご使用のバルブのバルブコアが取り外し可能かご確認ください。
- ※デュアルヘッドをバルブから引き抜く際は、ホイールを立てて、バルブをハブより上側にして取り外してください。  
タイヤ内部にシーラント剤を充填していた場合、バルブから噴き出す恐れがあります。



## 【保証について】

1. 取扱説明書の中に従った正常な使用状態で万一不具合が発生した場合、  
**お買い上げ後 1 年間無償にて修理または交換させていただきます。**
2. 購入証明書 (販売店のレシート等) をもって保証の適用とさせていただきますので  
大切に保管していただきますようお願いいたします。
3. 不具合品をご送付いただく際の送料は、お客様負担とさせていただきます。
4. 保証期間内でも次の場合は、保証対象外となります。
  - ・取扱説明書の取り扱いに反した場合
  - ・誤使用、改造、不適切な修理による不具合および損傷
  - ・自然災害による不具合や損傷、またこれに起因する事故等・消耗品および付属品の交換
5. 本保証は、日本国内においてのみ有効です。

ホダカ株式会社  
TEL : 048-985-2000

受付時間  
月曜日～金曜日 (祝日、当社休日を除く)  
10 : 00 ~ 12 : 00、13 : 00 ~ 16 : 00

品質改良のため、仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。